

2024年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年4月9日

上場会社名 キャリアバンク株式会社
コード番号 4834 URL <https://www.career-bank.co.jp>

上場取引所 札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 良雄
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部長兼経営管理部長 (氏名) 橋本 正太

TEL 011-251-3373

四半期報告書提出予定日 2024年4月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第3四半期の連結業績(2023年6月1日～2024年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第3四半期	5,497	△9.6	274	△54.4	292	△52.1	114	△67.3
2023年5月期第3四半期	6,078	6.7	601	44.1	610	47.4	350	46.3

(注) 包括利益 2024年5月期第3四半期 214百万円 (△50.1%) 2023年5月期第3四半期 429百万円 (32.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第3四半期	115.54	—
2023年5月期第3四半期	353.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年5月期第3四半期	4,626	2,132	28.2	1,315.87
2023年5月期	4,171	1,940	28.5	1,195.81

(参考) 自己資本 2024年5月期第3四半期 1,306百万円 2023年5月期 1,187百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年5月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年5月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2024年5月期(予想)	—	0.00	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年5月期の連結業績予想(2023年6月1日～2024年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,566	△5.0	385	△2.1	394	△3.8	192	△7.3	193.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年5月期3Q	993,000 株	2023年5月期	993,000 株
② 期末自己株式数	2024年5月期3Q	— 株	2023年5月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年5月期3Q	993,000 株	2023年5月期3Q	993,000 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料]2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の緩やかな改善や個人消費の持ち直しなどにより、景気が緩やかに回復しておりますが、円安傾向の継続及び世界的な資源並びに原材料価格の高騰など、不透明な状況が続くものと思われまます。

このような状況のもと、当社グループは、企業と人材を繋ぐ役割と機能を果たし、質の高い人材サービスの提供を通じて、双方が求めるニーズに応えてまいりました。

人材派遣関連事業においては、前年同四半期に計上した大型の行政系事業及び新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に係る売上高が減少したことから、売上高及びセグメント利益が前年同期を下回りました。人材派遣関連事業（関東）においては、新規のコールセンター業務が受託できたこと及びイベント及び推奨販売等の対面で行う業務が回復してきた結果、売上高が前年同期を上回り、セグメント損失が縮小しました。人材紹介事業においては、人材の流動化による高い求人ニーズへ迅速に対応したことで成約数が伸びましたが、人材の募集に係る費用が増加した結果、売上高は前年同期を上回りましたが、セグメント利益が前年同期を下回りました。再就職支援事業においては、行政官庁から発出される雇用政策系の事業が減少傾向となった結果、売上高及びセグメント利益が前年同期を下回りました。BPO事業においては、給与計算処理人数及び年末調整処理人数が増加した結果、売上高及びセグメント利益が前年同期を上回りました。日本語学校運営事業においては、新規留学生の募集営業が順調に推移し、2地域で運営している学校の生徒数が安定してきた結果、売上高及びセグメント利益が前年同期を上回りました。その他事業は、中国語研修事業において、中国語圏での政治的課題の影響により中国語圏への赴任者が抑えられたこと及びソフトウエア・ハードウエアにおいて、ハードウエア開発を縮小した結果、売上高が前年同期を下回り、セグメント損失となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高5,497,417千円（前年同期比9.6%減）、営業利益274,552千円（前年同期比54.4%減）、経常利益292,645千円（前年同期比52.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益114,731千円（前年同期比67.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ454,358千円増加し、4,626,248千円となりました。これは主に売掛金の増加1,395,695千円とそれに伴う現金及び預金の減少979,600千円との差額等によるものであります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ263,036千円増加し、2,493,963千円となりました。これは主に短期借入金の増加750,000千円と一年以内返済予定の長期借入金の減少158,104千円との差額等によるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ191,322千円増加し、2,132,285千円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益114,731千円の計上及び利益剰余金の配当13,902千円の結果、利益剰余金が100,829千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年7月18日に発表いたしました2024年5月期(2023年6月1日から2024年5月31日)の業績予想に関しまして、変更はありません。

また、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,456,817	1,477,217
受取手形、売掛金及び契約資産	719,990	2,115,685
その他	194,980	215,515
貸倒引当金	△620	△2,291
流動資産合計	3,371,168	3,806,127
固定資産		
有形固定資産	208,691	213,478
無形固定資産		
のれん	86,405	69,843
その他	227,395	202,274
無形固定資産合計	313,800	272,118
投資その他の資産	278,229	334,524
固定資産合計	800,722	820,121
資産合計	4,171,890	4,626,248
負債の部		
流動負債		
買掛金	88,247	139,534
短期借入金	400,000	1,150,000
1年内返済予定の長期借入金	383,930	225,826
未払費用	417,965	324,315
未払法人税等	53,223	76,857
未払消費税等	100,073	73,192
その他	426,024	164,370
流動負債合計	1,869,464	2,154,096
固定負債		
長期借入金	332,223	295,053
その他	29,239	44,813
固定負債合計	361,462	339,866
負債合計	2,230,927	2,493,963
純資産の部		
株主資本		
資本金	256,240	256,240
資本剰余金	102,167	103,265
利益剰余金	753,796	854,626
株主資本合計	1,112,204	1,214,132
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61,135	75,172
為替換算調整勘定	14,094	17,355
その他の包括利益累計額合計	75,230	92,527
非支配株主持分	753,527	825,625
純資産合計	1,940,963	2,132,285
負債純資産合計	4,171,890	4,626,248

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)
売上高	6,078,786	5,497,417
売上原価	4,505,873	4,175,303
売上総利益	1,572,913	1,322,114
販売費及び一般管理費	971,048	1,047,561
営業利益	601,865	274,552
営業外収益		
受取賃貸料	6,227	6,676
受取配当金	2,309	3,223
保険解約返戻金	—	6,437
為替差益	4,142	—
助成金収入	3,684	6,504
その他	3,774	9,482
営業外収益合計	20,138	32,324
営業外費用		
支払利息	4,434	4,343
賃貸費用	6,227	6,676
為替差損	—	2,864
その他	542	346
営業外費用合計	11,204	14,230
経常利益	610,799	292,645
特別利益		
新型コロナウイルス感染症による助成金収入	3,689	—
特別利益合計	3,689	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	1,449
特別損失合計	—	1,449
税金等調整前四半期純利益	614,488	291,195
法人税等	196,079	98,876
四半期純利益	418,408	192,318
非支配株主に帰属する四半期純利益	67,668	77,587
親会社株主に帰属する四半期純利益	350,740	114,731

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)
四半期純利益	418,408	192,318
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,972	14,723
為替換算調整勘定	△6,614	7,580
その他の包括利益合計	11,358	22,303
四半期包括利益	429,767	214,622
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	364,654	132,028
非支配株主に係る四半期包括利益	65,112	82,593

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(重要な後発事象)

連結子会社である株式会社エコミックは、2024年2月26日開催の取締役会において、公募による新株式の発行及びオーバーアロットメントによる売出しに関連して、第三者割当による新株式の発行について決議し、公募による新株式の発行については2024年3月12日に払込が完了しております。また、第三者割当による新株式の発行については2024年3月25日に払込が完了しております。

当新株式発行に伴い、株式会社エコミックに対する当社の議決権所有割合(間接所有含む)は過半数を下回る44.49%となり、当社の連結子会社から除外され、持分法適用関連会社となりました。

1. 公募による新株式の発行

(1) 募集等の方法	一般募集
(2) 発行する株式の種類及び数	普通株式 750,000株
(3) 発行価格	1株につき 484円
(4) 発行価格の総額	360,000千円
(5) 払込金額	1株につき 453.58円
(6) 払込金額の総額	340,185千円
(7) 資本組入額	1株につき 226.79円
(8) 増加する資本金及び資本準備金の額	増加する資本金の額 170,092千円 増加する資本準備金の額 170,092千円
(9) 払込期日	2024年3月12日

2. 第三者割当による新株式の発行

(1) 募集等の方法	第三者割当増資(オーバーアロットメントによる売出)
(2) 発行する株式の種類及び数	普通株式 112,000株
(3) 払込金額	1株につき 453.58円
(4) 払込金額の総額	50,800千円
(5) 資本組入額	1株につき 226.79円
(6) 増加する資本金及び資本準備金の額	増加する資本金の額 25,400千円 増加する資本準備金の額 25,400千円
(7) 払込期日	2024年3月25日
(8) 割当先	岡三証券株式会社

3. 資金の使途

年末調整システムの増強及び法改正の対応、給与計算基幹システムの増強及び更新投資、セキュリティ投資。

4. 今後の見通し

当該事象による2024年5月期の業績に与える影響については、詳細を精査中であり、現時点においては未確定であります。